

## 令和7年度 グループ発表の概要について（3班）

### 3班 岸本勝行さん

大きなテーマとして、安心して暮らせる町、あわせて安心して稼げる町と、そういうことをテーマにご意見をいただきました。

まず、安心して暮らせる町ということで、一つの大きな項目としては、子育て、それから教育というところに視点を当てさせていただきました。先ほどもありましたけれども、中学生の放課後の部活動が地域移行になって、部活動をやる子とやらない子、大きく分かれてくると思います。そんな中で、そういう子もたちが放課後に前向きにですね、意欲的に何かが取り組めるような、例えば放課後学習塾とか、あるいは放課後の地域スポーツクラブとか、もしかしたらアンケートなんか取ったりすると、今、全国的に盛り上がっているeスポーツなんていいうのも、子どもが希望する場合もあるので、そういうときにその準備もしておかなければならぬのかなって、そんなふうに思いました。

それから、前にどこかでお話したことがもしかしたらあったかも知れないですけれども、中学校あるいは小学校に入学するときの制服やカバンなど、こういったものが大変高価です。これは買っていただくのが町の経済の循環に繋がるのかなとは思いますけれども、なかなかそこまで大金を出して買うのはつらいなというご家庭のためにリユースバンクみたいのも、町あるいはPTAとして立ち上げ、制服やカバン、そういうものを先輩から後輩に譲るシステム、まあ各家庭、個人ではやってるんだと思いますけれども、なかなか相手のいない家庭にとっては、そういうところがあると本当に安心して暮らせる町の一つになるのかなというふうな感じがいたします。

それから今、各地域でいろんなサロン、子育てサロンとか、お年寄りたちのサロンとか、そういうものも行われていると思うんですけれども、そういうサロンに出張して、例えば、お年寄りには健康体操や音楽を楽しんでいただいたりとか、そういう人材バンクみたいのもあるかもしれないですけれども、ぜひ立ち上げていくことが、安心して暮らせるまちになるのかなと、そんな意見も出ました。

それから、安心して暮らすためにはやはり、個人個人ではなかなか暮らせないので、人との繋がりを大切にできるような町にしていくためには、ある程度、例えば区長さんなり地域の代表の方なり、そういう方が各種イベントでリーダーシップを取る中で繋がりが持てるような仕掛けをしていっていただけると、転入してこられた方々も安心して生活できるのかなというような話もいただきました。

次にですね、安心して稼げる町の部分に移りたいと思うんですけども、何人かのお話にもありましたけれども、現在、空き家とか空き農地、耕作放棄地みたいなところが大分目立ってきております。そういうところを有効に利活用できるような、そういうコーディネーターのような方が、町の職員あるいは仕事としてそういうことを誰かがやっていただけるようなシステムができると、就農したいという方もいらっしゃるでしょうし、就業したいって思っている方々もいると思うので、そういう方々にですね、まずは体験か

らみたいに段階を踏んでコーディネートできるようなシステムも必要じゃないかというようなことがわかりました。

また、空き家についてもですね、空き家バンクのようなものを作っていたらいいですね、そこには住めるのかとか、どの程度リフォームすればいいのかとか、そういったところも把握しておいていただけます。個人の持ち物でなかなか難しい部分あると思うんですけども、空き家を空き家のまま放っておくのは防犯上よろしくないと思いますし、それから獣たちも住み着いたりすると作物にも影響があると思いますので、そういったところにも少し気持ちを費やしてもらえばということで話がなされました。

板倉町の強みの一つとしては、農地がたくさんあること、しかもとてもよく整備されているというようなところもありますので、そういった農地などを活用した、農地だけではないですけれども、町の特産品とか特産物とか、そういったものをブランド化できるような道筋を作りながら、町の活性化に繋げていっていただけるといいのかなって。また、販路拡大ということで、これも専門家がやっぱり必要だと思うんですよね。町の職員の方々だけでは難しいと思うので、販路拡大に向けて専門家を雇って、道の駅なり、川の駅なり、それからインターネットによる販売なり、そういったものも手がけていっていただけるといいかなっていう話が出ました。

安心安全のためには、防犯が欠かせないことになると思います。確かに、「あれ外国人じゃねん？」みたいな偏見的な見方がどうしても出てきてしまう中で、板倉町にも今、中国人やベトナム人、フィリピン人、インドネシア人など、たくさんの外国人が住まわれています。そういう方々をいかに取り込んで町の活性化に繋げていくかというようなところも今後…、広報を見るとですね、外国人の割合みたいなのが広報に載っていましたっけ？そこは載ってないんでしたっけ？載ってますよね。やっぱり増えている状況があったかなと思います。でも、何年か後にはかなりの外国人の方が板倉町に居住して、町の活性化のために尽力してくれるような場面が出てくると思うので、外国人の方々をいかにこちら側のコミュニティに取り込んでいくかというところも手がけていっていただけるとありがたいなというふうに思います。

それから、そういった全てのことをやるにはですね、やっぱり人とお金が必要になってくるということで、いかにその人を育てるかと。これは経験をしないと人は育たないので、町としても、あるいは専門的な方を雇うにしてもですね、そういった方々を活用して…。それから今、人口が流出しているようなことを言われたりして、そんなに減ってはいないとは思うんですけども、出生の状況などを見るとですね、本当に危機的なことになっていると思うので、そういう流出を防ぐためにも、安心して暮らせる町であるというようなことを内外に、もちろん町の中にもPRしながら、発信しながら、板倉町の良さというのも伝えていっていただけるといいかなというふうに思っています。余談じゃないですけれども、板倉町の良さとすれば、四季折々の素晴らしい景色とか、暗いがために星空がとても良く綺麗に見えるとか、美味しいものがたくさんあるとか、そういうのも観光資源として活用できるのかなというようなところあります。